

台風8号に伴う梅雨前線の活発化による豪雨における 横川ダム防災操作について

横川ダム流域において7月9日0時から降り始めた雨は、7月9日6時～7時にかけて流域平均で**時間雨量17.5mm**を記録する強い雨が降りました。

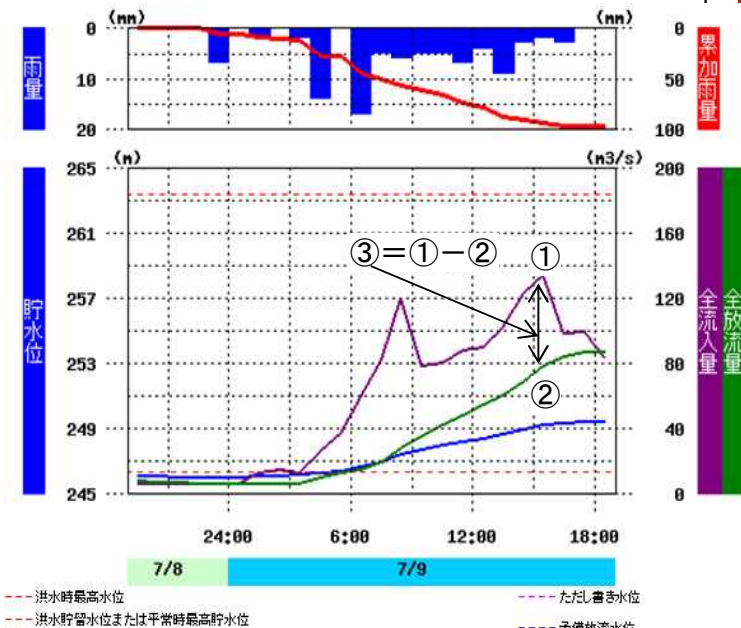
横川ダム貯水池への流入量は、7月9日15時35分に**最大値約150m³/s**に達し、防災操作により**一時的にダム貯水池に約75m³/sを貯め**、横川ダムから下流へ75m³/sの放流を実施しました。その結果、小国町の**小国水位観測所の最高水位を約13cm低下**させることによって、小国町中心市街地の洪水被害の軽減を図ることが出来たと推測されます。

15時35分のダム貯水池に貯めた水量は**約1,141千m³**で、東京ドーム（約1,240千m³）の容積約**0.9個分**に相当します。

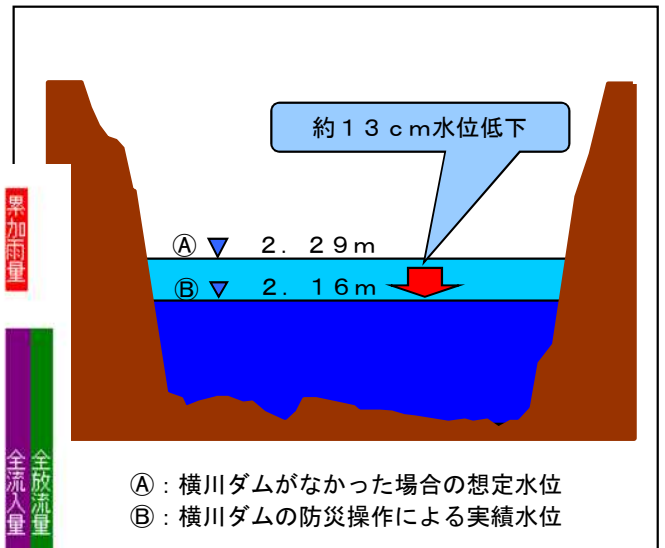
なお、今後も下流の洪水被害の軽減を図っていきます。

●今回の出水における値(9日15時35分)

	最大値
①横川ダム貯水池への流入量	150.42m ³ /s
②横川ダムから下流への放流量	75.11m ³ /s
③最大流入量時の調節量	75.31m ³ /s



小国町小国水位観測所での水位低減効果



問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局
横川ダム管理支所
支所長 笠原 邦昭
TEL0238(65)2363(代)

(※本発表は速報のため、数値は今後変更となる場合があります。)